

令和7年度 地域と学校の未来創造ミーティング(西諸県地区)

【本日の日程】

9:10		9:30	9:45	10:55		12:00
9:10		9:35		10:45		11:55
	受付	開会	説明	講話	休息	対話
						閉会

(1) 開会

(2) 説明「未来につながる地域づくり・学校づくり」

宮崎県教育庁 生涯学習課

(3) 講話「地域と学校の連携・協働について」

特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事 竹原 和泉 氏

(4) 対話(グループ協議)「幸せな地域と学校の未来づくり 今、私たちにできること」

(5) 閉会 ※アンケート

Memo

【アンケート】

アンケートへの御協力をお願いいたします。
スマートフォン等を活用し、右の二次元コードを
読み取って、御回答ください。



幸せな地域と学校の未来づくり 今、私にできること

テーマ「ふるさとを好きになる子どもを育てるために」



『対話』のルール

主語は「私」 当事者意識をもとう！ 他者依存的にならないように！

他者の意見を尊重する（頷く・はへほ・深掘り）

【第1部】ふるさとへの思いを語り合おう

- 「自分が子どもの頃に好きだったふるさとの風景・人・行事」は？
- 子どもたちにどんなふるさと体験をしてほしい？

【第2部】学校と地域のつながりを考えよう

- 「今の子どもたちはふるさとをどう感じているか」を話し合おう。
- 学校や地域の中で、ふるさとへの愛着を育むためにできることは？

- ◆ 地域の人との交流
- ◆ 地域行事への参加
- ◆ 地元の自然・歴史・文化を学ぶ機会

※ 補助資料を参考に

【第3部】熟議の場づくりについて考えよう

- 学校運営協議会でこうしたテーマを扱うにはどうすればよいか話し合おう。
- 対話の場をどう設計すれば、地域の多様な声を引き出せるか？



【まとめ】振り返ってみましょう

- 今日の対話を通して得た気づきや感想を共有しましょう
- 「自校・地域でまずやってみたいこと」を一人ずつ発表してみましょう

ふるさと（地域のこと）が好きになる子ども

ふるさとを好きになることは、
自分を好きになること、自己肯定感の土台を育てること

【 ふるさとへの愛着を育てる鍵は「人との関わり」 】

- 繰り返しの人との交流（挨拶、会話、世間話、地域活動など）
- 地域の人々との共通体験（祭り、農業体験、郷土料理づくりなど）
- 地域の人からの温かい働きかけ（声かけ、教え、協力など）

【 地域と子どもをつなぐきっかけづくり 】

- 今日からできる小さな一歩を
- その小さな一歩が子どもや地域の未来をつくる

【 地域全体で子どもの心を育てる 】

- 学校×地域×家庭の連携で“ふるさと愛”を持続可能に
- 子ども達の好きな風景や残したい思い出を地域全体で考える

場面	テーマ及び取組例
学校	「教室を飛び出して地域へ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学習（探求学習）や体験活動を効果的に取り入れる ○ 方言（言語文化）、地域の歴史・文化などを教材に ○ 地域行事への参画・貢献（帰属意識・自己肯定感）
家庭	「家庭こそふるさとの原点」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 食卓での地元食材を使った料理・親子の団らん ○ 自然散歩（自然や風景に親しむ）、親の昔話（体験）の共有 ○ 親の「地元愛」を子どもに感化（親から子への感情のバトン）
地域	「子どもの心に残る“地域のおせっかい”」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域イベント・ボランティア（帰属意識）、昔話の語り継ぎ ○ 子ども・保護者への声かけ、子育て支援など日常的な関わり ○ 第三者が子どもに関わることの情緒的な安定（ナナメノ関係）